

重要文化財指定記念事業

連続セミナー

五色台から考える



ナマリ(当館蔵)

自然の中で、一緒に
考えてみませんか。



瀬戸内海歴史民俗資料館は
なぜ五色台に建てられたのか。

1960-70年代に開発が行われた五色台とは
どのような場所なのか。

視点を変えながら五色台について考える全4回の連続セミナー。

毎回異なる会場で、講座と現地見学を行います。

Seto Inland Sea Folk History Museum

2025

6/7

(土)

第3回

「五色台周辺の民俗」

10:00-11:30

講師 田井 静明 (瀬戸内海歴史民俗資料館職員)

会場 瀬戸内海歴史民俗資料館
(香川県高松市亀水町 1412-2)

五色台及び周辺地域に伝わる伝説や信仰、五色台を取り囲む坂出市・高松市の各町の主な祭りや民俗芸能などを写真や映像で紹介します。あわせて、当館の西隣に位置する坂出市王越町木沢地区と乃生(のう)地区の土地利用や生業、くらしの変化などについて詳しく解説し、五色台周辺の民俗の特徴やくらしの今を見つめます。

毎回、講座(約1時間)と現地見学(約30分)を実施。

2025

7/5

(土)

第4回

「養蜂から五色台を考える」

10:00-11:30

講師 田中 祐 氏(中田養蜂代表取締役社長)

会場 五色台ビジターセンター
(香川県坂出市王越町 1733-18)

開発以前から養蜂業が盛んだった五色台。その地で養蜂業を営む専門家は、今の五色台をどう見ているのか。地域に合わせた産業のあり方という目線から、五色台の自然の移り変わりや人のくらしについてお話しいただきます。里山そのものの変化に気づくことで、これからの五色台との関わり方を考えます。講座後、五色台ビジターセンターの施設を見学します。

【講師紹介】 五色台で創業 88 年を迎えた中田養蜂の 3 代目。デパート店員から一大決心で妻の実家である香川に移住。ハチミツ生産の他、直売店に仲間の商品を紹介したり、地域活動や食育活動にも力を入れている。



定員 第3回30名、第4回40名 (要事前申込・先着順)

申込期間 第3回 4/29(火)～・第4回 5/27(火)～ 定員になり次第終了

申込方法 電話、または「香川県電子申請・届出システム」でお申し込みください。

*お申し込みの際は、行事名と氏名、電話番号をお知らせください。インターネットからのお申し込みは、瀬戸内海歴史民俗資料館ホームページ右下の「関連リンク」から「香川県電子申請・届出システムのページ」をクリックしてください。

協力: 五色台少年自然センター、五色台ビジターセンター、白峯寺、中田養蜂、五色台活性化の会

瀬戸内海歴史民俗資料館

Seto Inland Sea Folk History Museum

〒761-8001 高松市亀水町1412-2(五色台山上)

TEL 087-881-4707 FAX 087-881-4784

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/setorekish>



◎JR 高松駅から車で約 25 分・JR 坂出駅から車で約 30 分
◎徳島方面から…高松自動車道横紙 IC より車で約 30 分
◎岡山方面から…瀬戸中央自動車道北 IC より車で約 30 分 ◎愛媛・高知方面から…高松自動車道坂出 IC より車で約 35 分 *いずれも県道高松王越坂出線の大崎ノ鼻経由
◎駐車場: 普通車 30 台、大型バス可

